

懐かしの  
アルバム座礁したイギリス帆船の  
異人さん

明治8年8月、遠州灘海岸の長上郡福島村（浜松市中央区福島町）にイギリスの貨物帆船ジェームズ・ペイトン号が座礁、村民たちが総出で救助にあたり船長夫婦ら15人全員を救出しました。村に滞在すること1か月あまりで、全員無事に横浜に向かいました。村にはイギリスから感謝状やガラス器などが送られてきました。この事故は広く知れ渡り、乗組員たちと交流関係を持った地元民も多かったそうです。その中の1人に村松林之助がいました。林之助は普通の農民でしたが、このときのことを日記に書き留め、異人さんの印象を絵に描いて残したそうです。この写真の絵がそれで、鼻が高く、髭をたくわえた乗組員の表情をよく捉えています。ジェームズ・ペイトン号座礁の記録は時の福島村の戸長 山田斧治郎が詳細に書き留めました。表紙には「英国船諸入費書上帳」と書かれています。



(資料提供©神谷昌志)

おいしいをつくりましょ。


**JAとぴあ浜松**